

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞
急性呼吸不全に対する高流量酸素デバイスの治療成功因子の探索
＜研究機関・研究責任者名＞
日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター 木下 浩作
＜研究期間＞
機関の長の初回許可日 ～ 令和 8 （西暦 2026 ）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞
肺炎による呼吸不全の診断で High Flow Nasal Cannula を装着し、2019 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日に ICU 入室した方
＜研究の目的＞
肺炎の治療として人工呼吸器管理を併用した場合、人工呼吸器関連肺炎の合併などで在院日数が伸び、身体的な体力低下などをきたすことが知られています。近年従来の酸素療法だけでは酸素が足りなかった患者さんに高流量酸素投与デバイス（ネーザルハイフロー）を装着することで人工呼吸器の装着を免れるケースが散見されます。ICU に入室した肺炎などの急性呼吸不全の患者に対し、どのような患者さんが最終的に人工呼吸器管理を必要とせず、ネーザルハイフローのみで治療成功したかを調べます。
＜研究の方法＞
上記期間において対象となる方の、CT スキャンデータ、採血検査、臨床経過に加えて身長や体重などのデータも参考にして、体組成との関連のある因子を探し、またそれらが転帰とどのように関わるかを調べます。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞
CT などの画像検査、血液検査結果、肺炎起因菌と抗菌薬使用期間
＜お問い合わせ窓口＞
研究分担者 救命救急センター 氏名 高橋 謙 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院 救命救急センター

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方